

製品名: Rab 40B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16757**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB40B
別名	RAB40B; SEC4L; Ras-related protein Rab-40B; SOCS box-containing protein RAR; Protein Rar
遺伝子 ID	10966.0
SwissProt ID	Q12829
免疫原	抗血清はヒト RAB40B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 229-278

背景

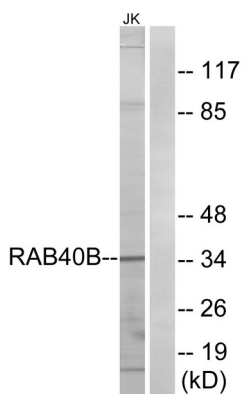
この遺伝子によってコードされるタンパク質は酵母タンパク質と類似性があり、この遺伝子産物が分泌小胞の調節に関与していることを示唆しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン: SOCS ボックスドメインは、様々な E3 ユビキチンリガーゼ複合体の

アダプターモジュールである Elongin BC 複合体との相互作用を媒介します。機能: 標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する、SCF 様 ECS (Elongin-Cullin-SOCS-ボックスタンパク質) E3 ユビキチンリガーゼ複合体の基質認識成分である可能性があります。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: 低分子 GTPase スーパーファミリーに属します。Rab ファミリー。類似性: 1 つの SOCS ボックスドメインを含みます。、

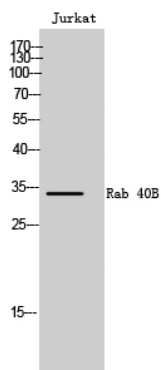
研究分野

-

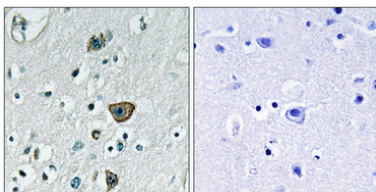
画像データ



RAB40B 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Rab 40B ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。